

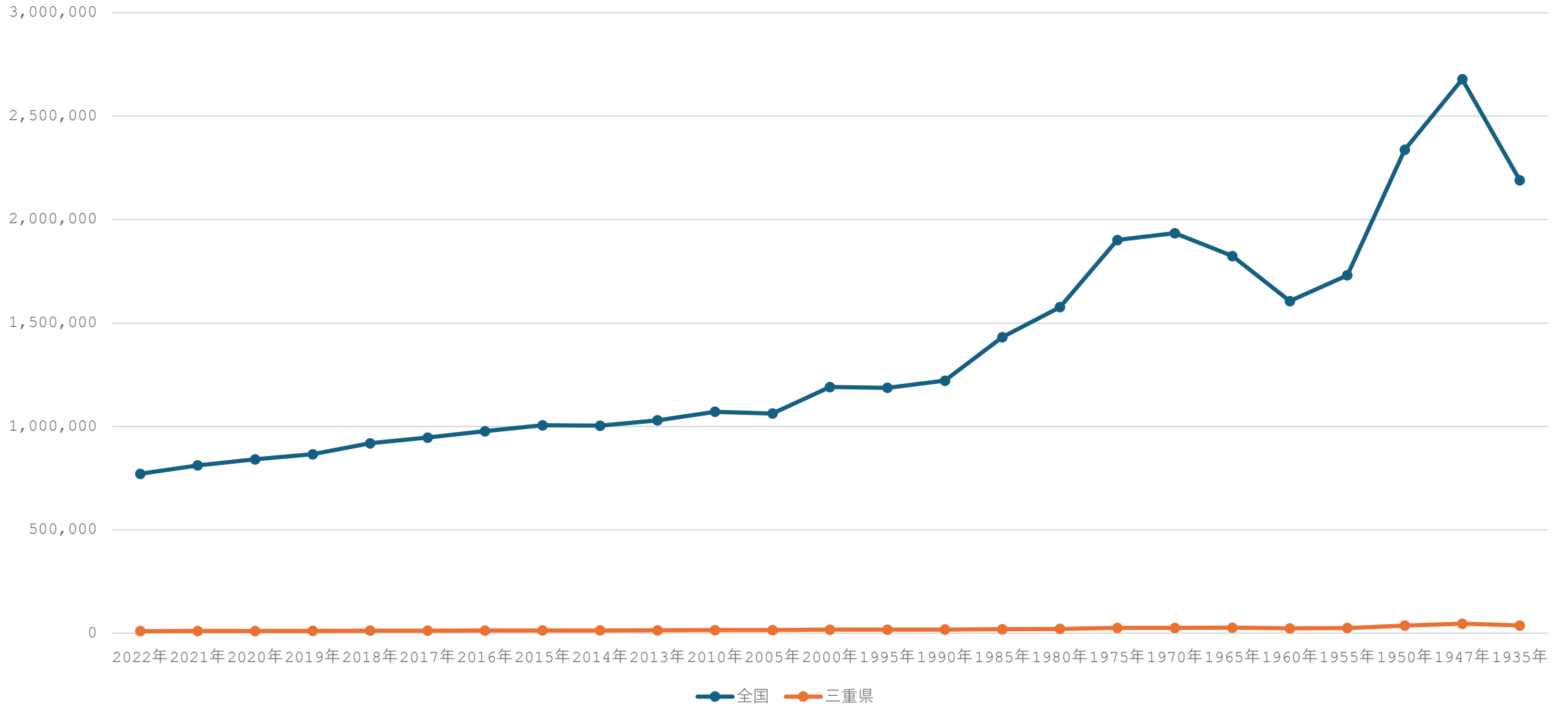
妊娠・出産・育児に関わる支援体制について

高山赤十字病院周産期母子・小児医療センター長

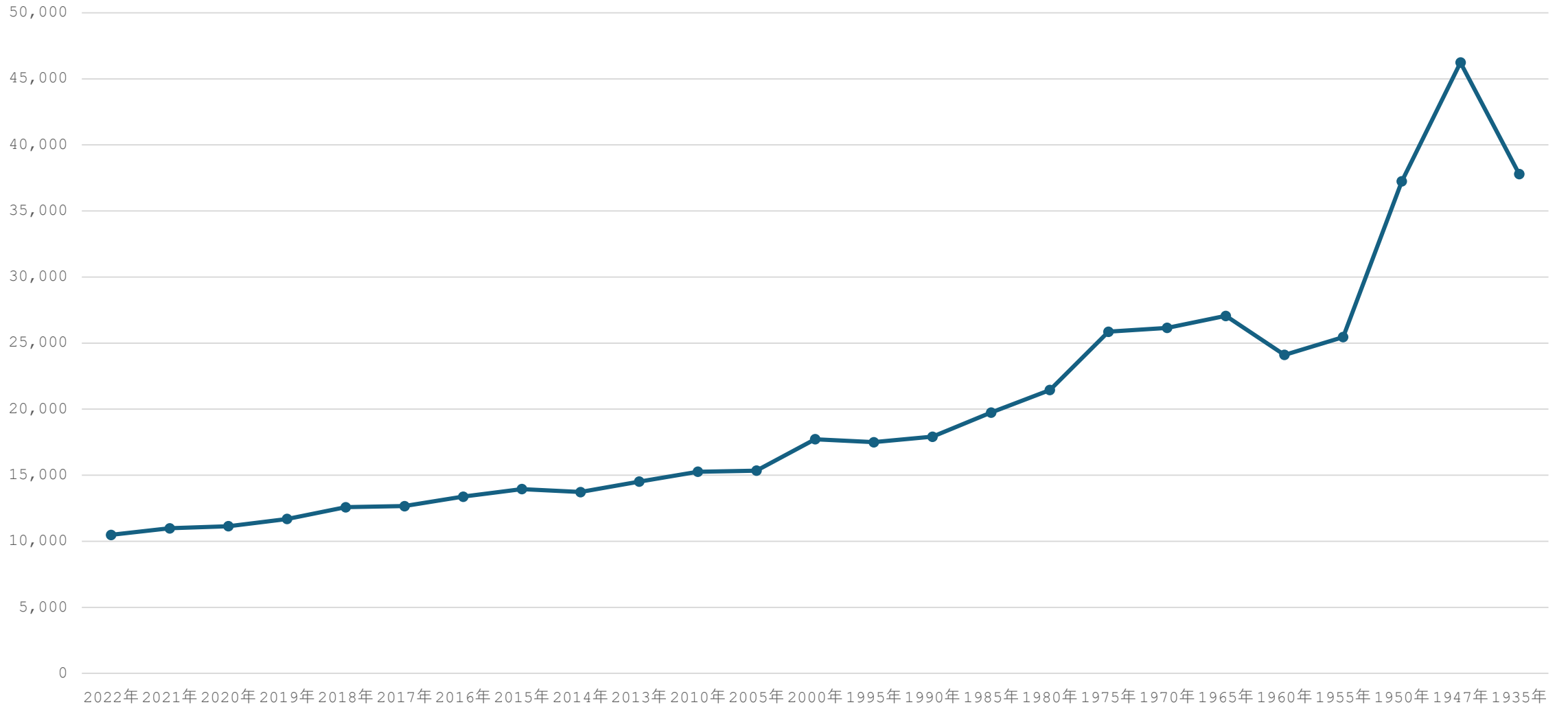
SBSK自然分娩推進協会 代表

荒堀憲二

全国の出生数の推移



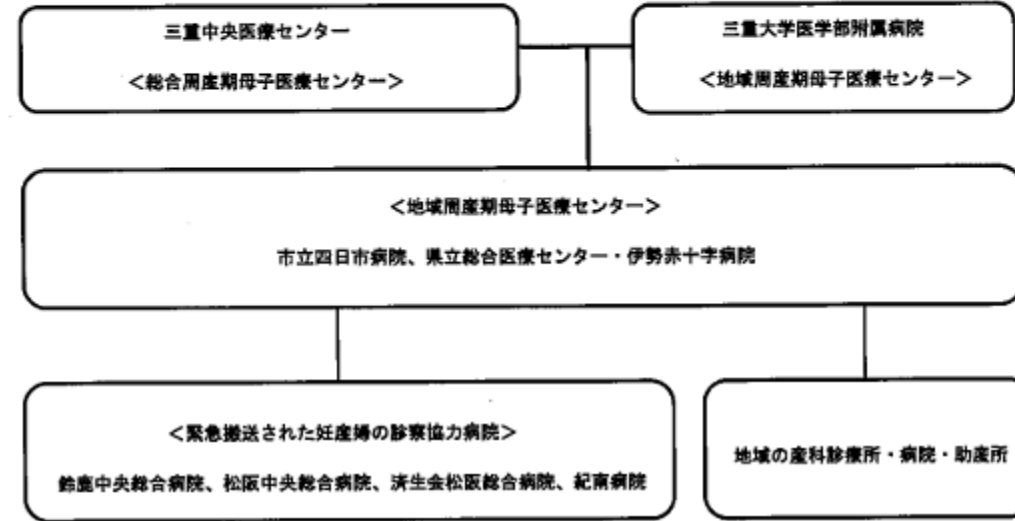
三重県の出生数の推移





- 三重県の産科医療機関
産婦人科診療病院
- 地域週周産期センター
(4)
- ⊘ 総合周産期センター (三
重中央医療センター)

三重県周産期医療体制



1. 総合周産期母子医療センター機能

- ・周産期緊急搬送（新生児）機能（新生児ドクターカー運営含む）
- ・医療情報システムの調査研究
- ・小児科における周産期医療データ業務機能
- ・医療情報センターとして、周産期医療データのとりまとめ・報告書作成
- ・周産期医療関係者の研修

2. 地域周産期母子医療センター機能

- ・各地域の緊急搬送の搬送受入及び搬送先調整機能
- ・かかりつけ医のいない妊産婦（妊娠36週未満）が緊急搬送された場合の診療と受入機能
- ・産科オープンシステム機能（三重大学医学部附属病院）
- ・産科における周産期医療データ業務機能（三重大学医学部附属病院）

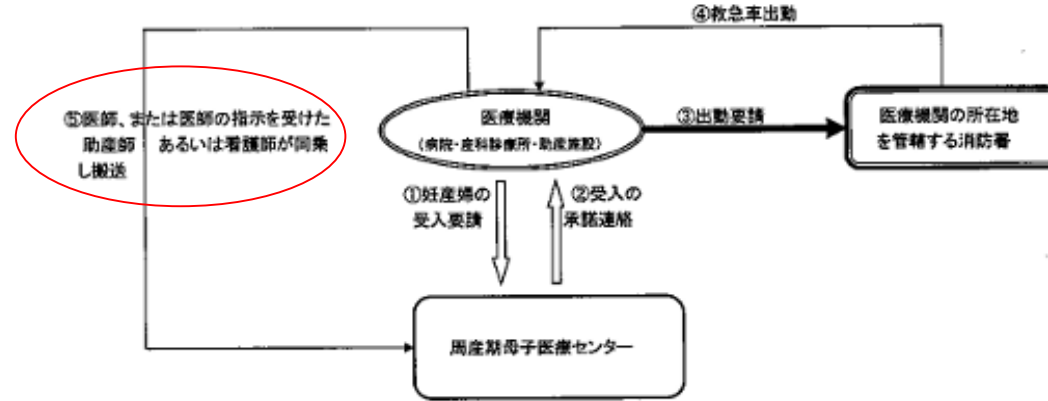
3. 救急搬送された妊産婦の診療協力病院の機能

- ・かかりつけ医のいない妊産婦（妊娠36週以降）が救急搬送された場合の診療と受入機能

三重県周産期医療緊急搬送システム体制

1 妊産婦の搬送体制

1) 搬送の基本



2) 搬送ルール

- ①各々の地域に属する診療所は、その地域の基幹病院(要請1)へ連絡する。
- ②受入可能であれば、時間的距離的に有利であるから、受入れる。
- ③不可能であれば、基幹病院(要請1)が、他の基幹病院(要請2または3)へ問い合わせをする。責任を持って最終搬送先を決定して、診療所へ連絡する。

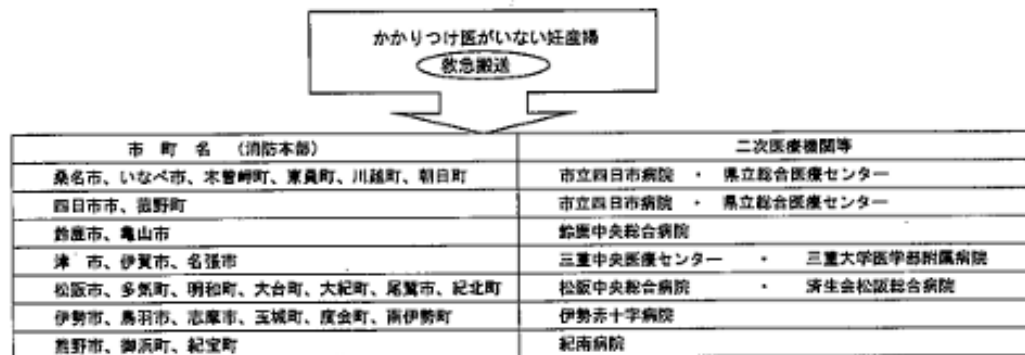
※条件:妊婦 28 週未満の場合は、「三重中央医療センター」か「市立四日市病院」を最優先する。

(例)鈴鹿市内の診療所で妊婦 25 週の搬送が必要となった場合、三重中央医療センターへ搬送する。

地域名	要請先 1	要請先 2	要請先 3
桑名、いなべ、四日市	市立四日市病院 県立総合医療センター	他の周産期母子 医療センター	三重大学医学部 附属病院 (県外要請)
鈴鹿、亀山、伊賀、名張	三重大学医学部附属病院		
津、久居一志、松阪、 紀北、紀南	三重中央医療センター		
伊勢、度会、志摩	伊勢赤十字病院		

(地域名:各都市医師会名)

3) かかりつけ医がない妊産婦の搬送体制



※ 受け入れが困難な場合、下図「周産期母子医療センター」へ搬送

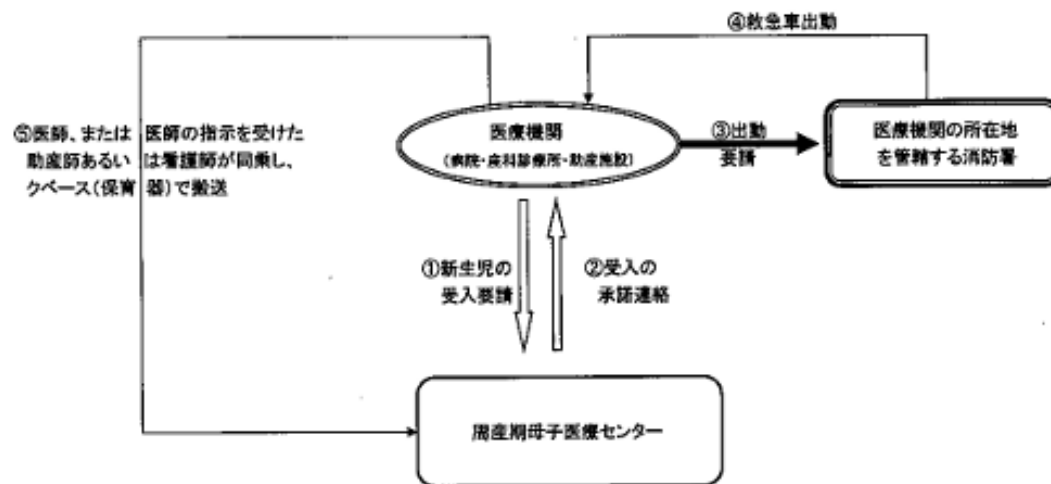
地域名 (二次医療機関等)	要請先 1	要請先 2	要請先 3
桑名、いなべ、四日市	市立四日市病院・県立総合医療センター	他の周産期 母子医療センター	三重大学医学部附属病院 (県外要請)
鈴鹿、亀山、伊賀、名張	三重大学医学部附属病院		
津、久居一志、松阪、紀北、紀南	三重中央医療センター		
伊勢、志摩	伊勢赤十字病院		

(地域名：各郡市医師会名)

※妊娠36週未満または妊娠週数不明の妊婦は、周産期母子医療センターへ搬送する。

2. 新生児の搬送体制

1) 搬送の基本



三重県分娩施設(73件 - 2件)

津市(12件) 四日市市(12件) 伊勢市(7件)
松阪市(10件) 桑名市(6件) 鈴鹿市(7件)
名張市(4件) 尾鷲市(1件) 亀山市(1件)
鳥羽市(0) 熊野市(2件) いなべ市(1件)
志摩市(1件) 伊賀市(3件) **桑名郡木曾岬町(0)**
員弁郡東員町(0) 三重郡菰野町(1件) 三重郡朝日町(1件)
三重郡川越町(1件) 多気郡多気町(1件) **多気郡明和町(0)**
多気郡大台町(0) **度会郡玉城町(0)** **度会郡度会町(0)**
度会郡大紀町(0) **度会郡南伊勢町(0)** 北牟婁郡紀北町(1件)
南牟婁郡御浜町(1件) **南牟婁郡紀宝町(0)** 12/29

分娩を扱う 助産所は6 件

【入院施設を持ち、分娩、乳房ケア、育児相談などを扱う助産所】

助産院名	助産師名	住 所	電話番号	HP
くつろか助産院	濱地 祐子	〒514-1136 津市久居東鷹跡町185-8	059-255-3258	
助産所マタニティハウス 「ひまわり」	鈴木 照美	〒513-0011 鈴鹿市高塚町1066-31	059-370-4970	

【入院施設を持ち、施設分娩および出張分娩、乳房ケア、育児相談などを扱う助産所】

助産院名	助産師名	住 所	電話番号	HP
かつはら助産院	勝原 則子	〒515-3131 津市白山町藤838-1	059-262-7811	
助産院 エンジェルスマイルモモ	宮木 孝子	〒516-1102 伊勢市佐八町2022-1	0596-39-1135	

【入院施設を持たずに、出張分娩、乳房ケア、育児相談などを扱う助産所】

助産院名	助産師名	住 所	電話番号	HP
あかね助産院	山岡 茜	〒519 三重県多気郡多気町（以下非公開）	090-1746-8843	
まちかど助産庵co* toiro	小川 かおり	〒511-0011 桑名市船馬町64-2	0594-73-7338	

【分娩を取り扱わないが、施設で乳房ケア、育児相談などを扱う助産所】

助産院名	助産師名	住所	電話番号	HP
いっぴはな助産院 母乳育児相談室	岩花 裕香	〒511-0914 桑名市中山町89番地	0594-73-0456	
助産師相談室 いのちのかがやき	林 みち子	〒518-0127 伊賀市山出903	080-5105-3926	
うみまち助産院	杉本 葵矢歌	〒517-0015 鳥羽市小浜町（以下非公開）	090-5112-5372	
お産の家 ゆずり葉	佐藤 美紀	〒511-0838 桑名市大字和泉246番地1	0594-21-1103	
産前産後ケア サポートハウス せいりき	勢力 美代	〒519-0501 伊勢市小俣町明野368	090-2689-8702	
助産院ミモザ	浅田 有美	〒514-1139 津市青葉台	090-5936-8094	
助産所 ここから	矢野 友起子	〒512-1216 四日市市桜花台1-6-1	090-5610-2059	
澄助産院	岩塚 智美	〒515-0812 松阪市船江町566	080-2587-1863	
たけうち助産所	竹内 美保子	〒517-0502 志摩市阿児町神明1400-22	090-3251-0192	
でくち母乳育児相談室	出口 和子	〒510-0074 四日市市鞆の森1丁目5-8	059-359-2611	
とちの実助産処	平野 ちづ子	〒515-0042 松阪市虹が丘町21-2	090-4255-1228	
和笑(なごみ)助産所	谷崎 恵美	〒511-0216 三重県いなべ市員弁町松之本1577-4	090-1413-8855	
母子支援室 みかん	本間 光代	〒518-0442 名張市中知山字下出897-25	070-1547-1652	
まみづか助産院 橋谷式母乳育児相談室	馬見塚 敦子	〒518-0644 名張市桔梗が丘西4-1-19	090-2143-9741	
マンマア母乳助産院	大畑 尚美	〒515-2602 津市白山町二本木809-2	059-262-5528	
みずき助産院	後藤 順子	〒510-8103 三重郡朝日町柿963番地	090-9244-5730	
レディースケア アントラクト	宇佐美 和代	〒510-1231 孤野町神森420-3	090-1982-9019	

助産院名	助産師名	住所	電話番号	HP
いのちの花助産院	平野 成子	〒510-0001 四日市市八田3-15-35	090-3952-5142	
うららか	鈴木 真実	〒510-0207 鈴鹿市稲生塩屋（以下非公開）	090-2501-0328	
きわ助産所	山中 希和	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町（以下非公開）	090-9050-2073	
さくら助産院	秋山 由美	〒515-0043 松阪市下村町（以下非公開）	080-6914-7626	
しまなみ助産院・津	前山 優子	〒514-0008 津市上浜町6丁目16-7-806	090-6233-3726	
出張・オンライン専門助産院 felice	小川 珠美	〒512-0921 四日市市尾平町3806-153	070-8594-8998	
出張専門 アキ助産院	安藝 実季子	〒512-8048 四日市市山城町	070-9150-1848	
助産院 糸	松下 里沙	〒514-0057 津市一色町（以下非公開）	090-1860-7988	
助産院きみおもい	大脇 希美	〒510-0318 津市河芸町杜の街（以下非公開）	080-2619-6524	
助産院 ご縁まる	加藤 雅子	〒510-8113 川越町亀尾新田（以下非公開）	070-1665-6685	
助産所ははみちる	前田 亮子	〒510-0263 鈴鹿市郡山町（以下非公開）	090-3968-7653	
助産所ひつつきむし	打田 祐希	〒513-0025 鈴鹿市竹野2丁目11-25	090-5034-3749	
しんぼ助産院	新保 美絵	〒518-0433 名張市つつじヶ丘	090-2343-6735	
高野助産院	高野 味鈴	〒514-1111 津市久居桜が丘町1730-109	059-256-4870	
中谷助産所	中谷 三佳	〒514-0111 津市一身田平野767-16	080-3283-7848	
ママサボ出張助産院 Ohana	大川 知美	〒512-1214 四日市市桜台2-5-193	090-2344-5692	
ママノトモ	奥 友美	〒510-0812 四日市市西阿倉川（以下非公開）	080-1559-7478	
夢の実助産院	宮田 みき	〒514 津市（以下非公開）	090-9914-8030	

NICEのガイドライン
医師もこのように話す

1.1.3 低リスクの経産婦 には次のことを説明します

自宅、助産所、院内助産院での出産は、産科での出産よりも高い自然分娩率になります。

産科での出産は、器械分娩、帝王切開、会陰切開などの介入率が高くなります。

でも、赤ちゃんの結果に違いはありません。

- ただし前提として、周産期システムに助産所や家庭分娩が組み入れられている

助産所の活用

満足度↑

幸せなお産



安全確保

ハイリスクの選別

ポイント健診

普段の健診

センター紹介

異常発生時

高次搬送

ヘリ搬送

陸路搬送

法的な問題

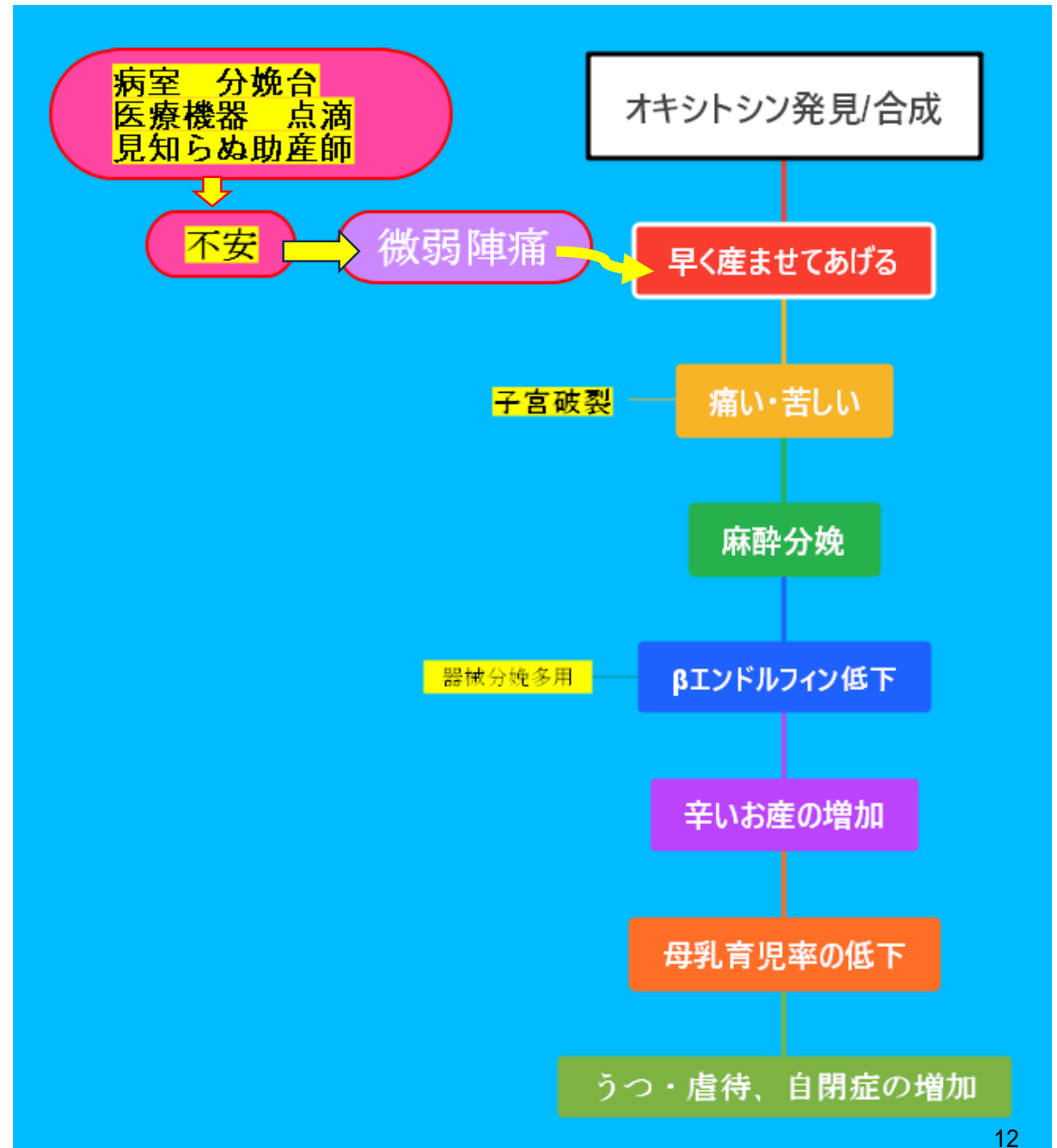
嘱託医制度

嘱託医療機関制度

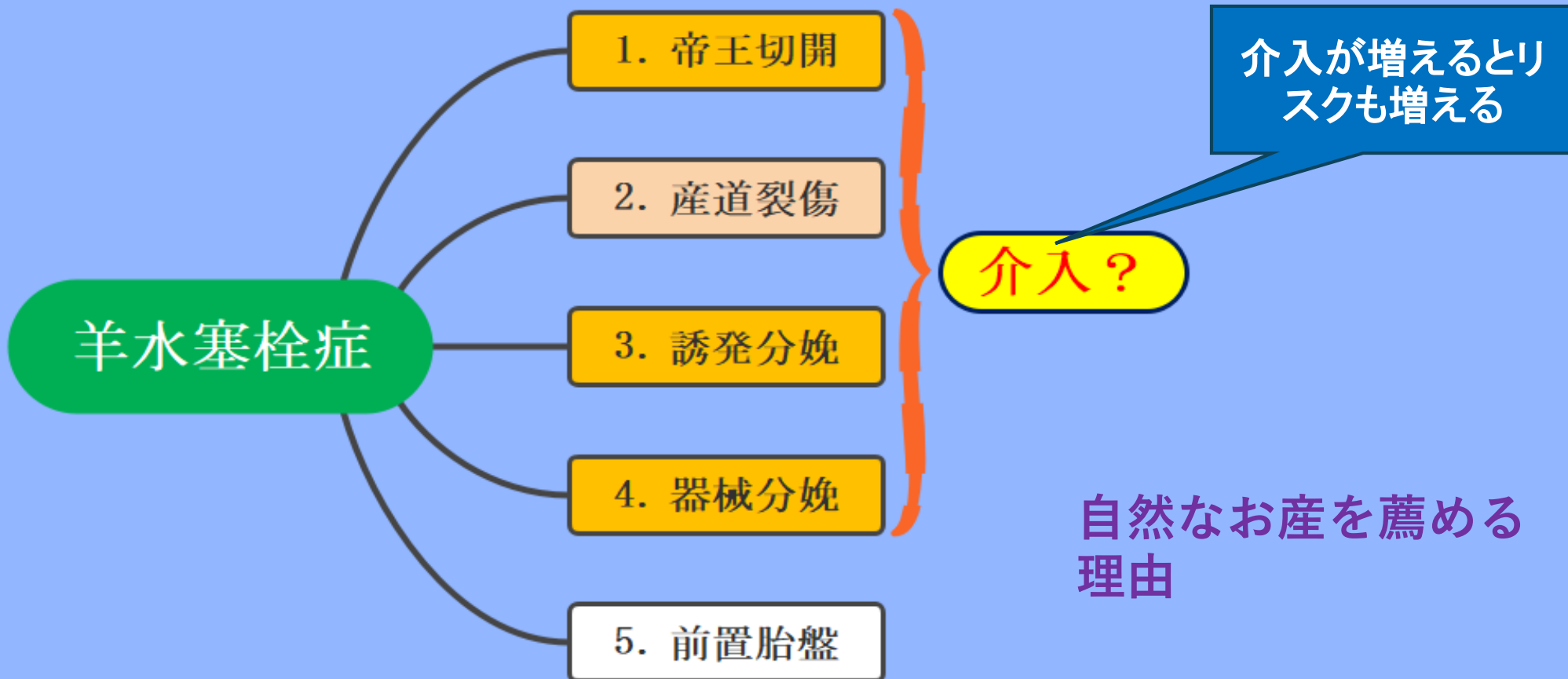
応召義務
で対応

病院分娩の弱点

正常なお産に医療が介入すると



羊水塞栓症の原因を調べると…

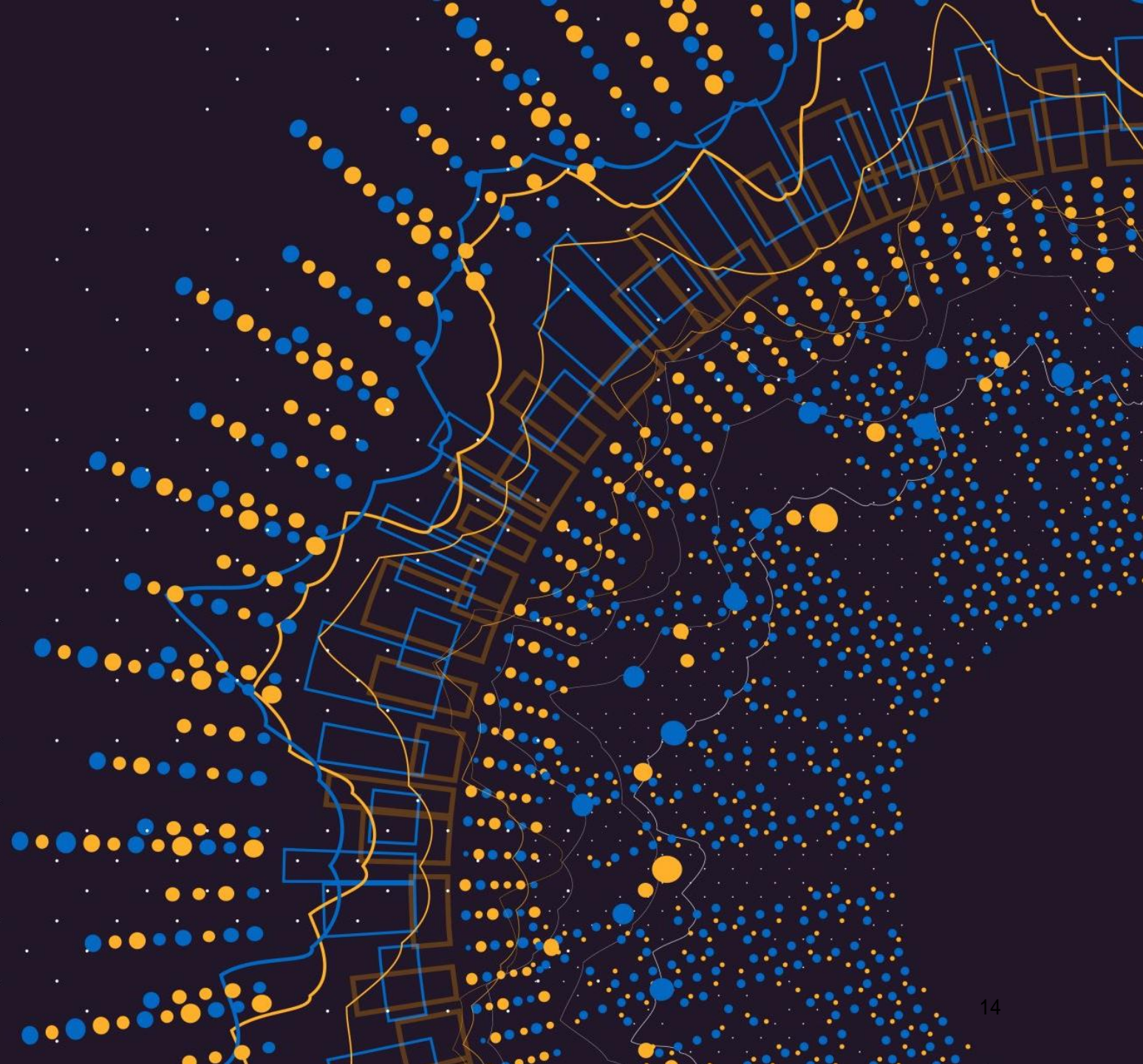


自然分娩推進協会 代表

高山赤十字病院 周産期母子小
児医療センター長

荒堀憲二

硬膜外 麻酔分娩



過去14年 の死亡は 590例

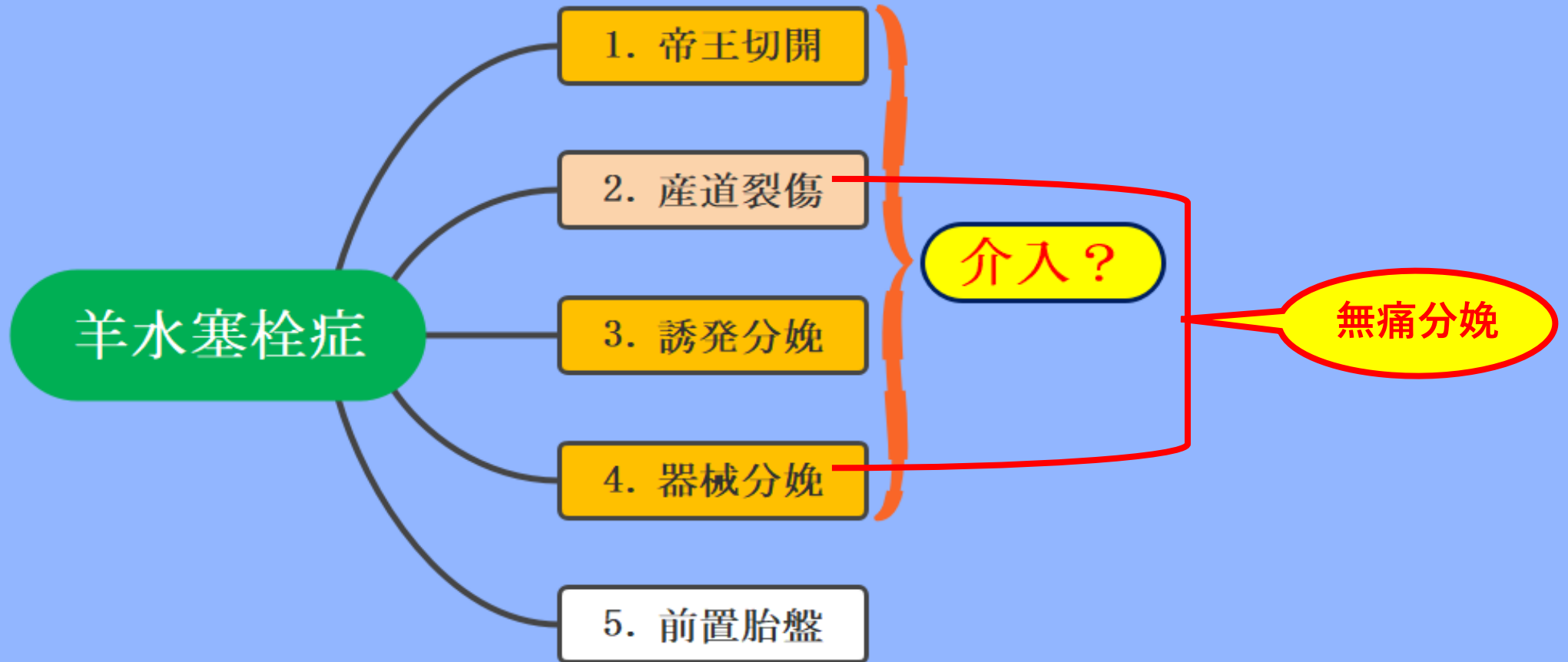
近年自殺が最多で2022年23%、14年間の平均は10%

多くが不安を抱えおり不安妊婦にはBio、Pshyco、Social (BPS) の3点評価を

無痛分娩死亡は24例で、うち23例は計画誘発分娩が同時に行われていた。羊水塞栓70%、子宮破裂12%

硬膜外無痛分娩では重篤な合併症をもたらすことがある

羊水塞栓症の原因を調べると…

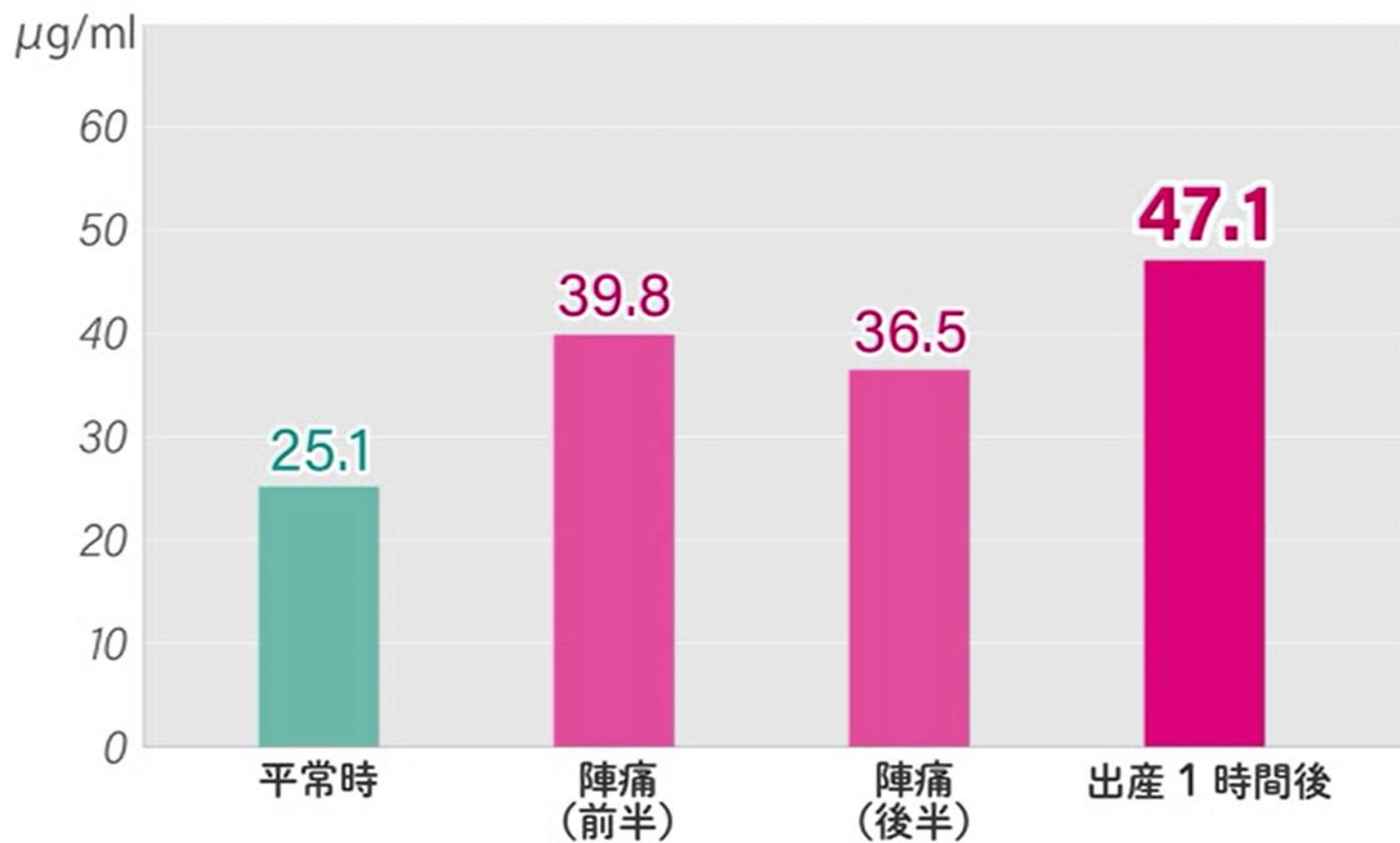


周産期うつ病の危険因子

(赤字は産後うつ病にも危険因子となる)

- **うつ病** 双極性障害 不安症の**既往**
- うつ病あるいは周産期疾患の家族歴
- **望まない妊娠** / 十代での妊娠
- 多胎
- **困難な**あるいは**トラウマを残す**妊娠 / **出産**
- 新生児の健康上の問題
- 低い社会経済的状態と**財政的困難**を伴う
- **社会的サポートの欠如**
- 肉体的あるいは性的**虐待**の既往
- 薬物乱用の診断
- アメリカ / アラスカ / ハワイの原住民 (30%の有病率)

分娩中のオキシトシン血中濃度



『NHKスペシャル 人体 ミクロの大冒険』
第2回 「あなたを变身させる! 細胞が出す『魔法の薬』」より引用

自分のオキシトシン

脳内分泌

愛着形成



エンドルフィンの分泌

鎮痛

恍惚感



脳外流出

子宮の筋肉

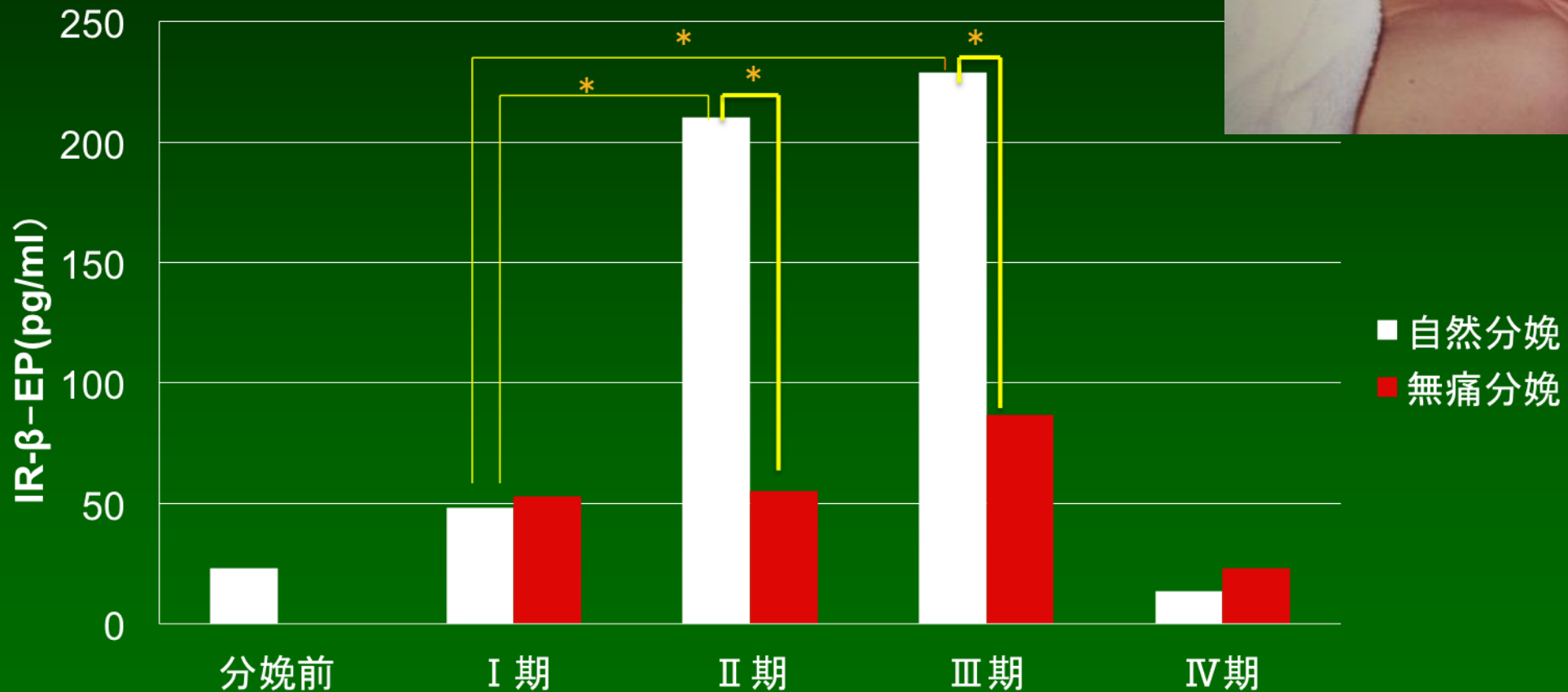
乳腺

陣痛

乳汁射出

合成オキシトシンはこちらだけ

自然分娩、無痛分娩における 母体β-エンドルフィンの推移



加藤浩二 妊娠中および分娩時における母体血中ならびに分娩時臍帯静脈血のβ - Endorphin, Cortisol, Prolactinの動態に関する研究 産婦中四会誌 43(1)

フィンランドでのコーホート研究 (1981年から6000人の18年間の追跡)

Q : 子どもたちが、行動や情緒面での問題が非常に少なく、しかも社会的能力が高いのは？

↓
出産後すぐ 3月 3歳 4歳に幸せであること

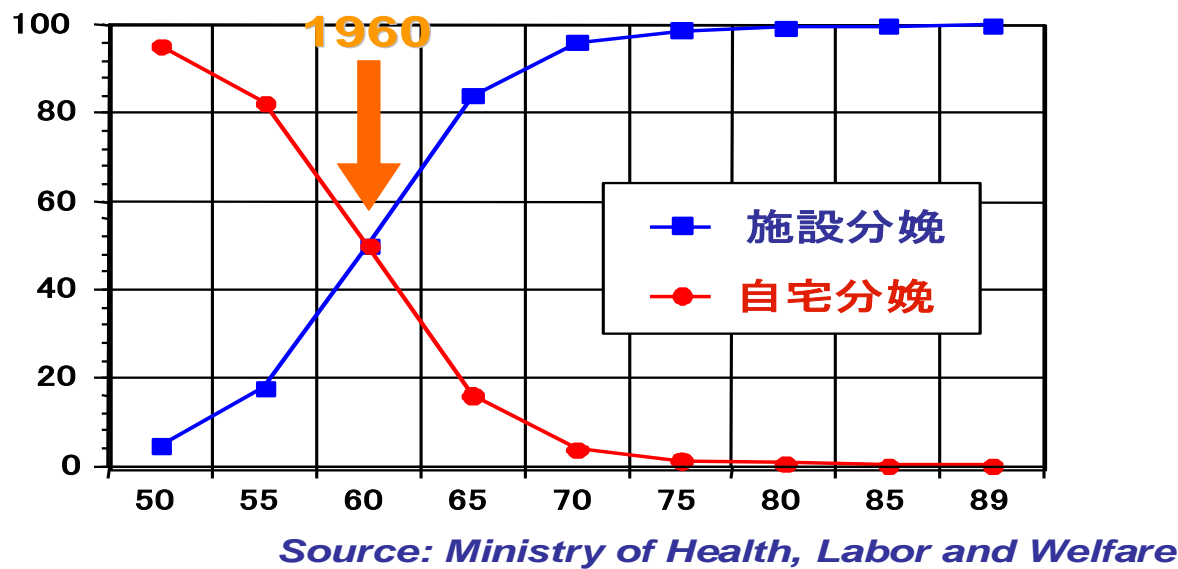
↓
お母さんが、産んだ後に幸せを感じていることと一番強く関係していた。

幸せなお産

- ❖ 内分泌学的な仕組みに従うお産
- ❖ 刺激—報酬系に従うお産
- ❖ お産直後の幸せが子どもの発達につながるようなお産

不幸せなお産

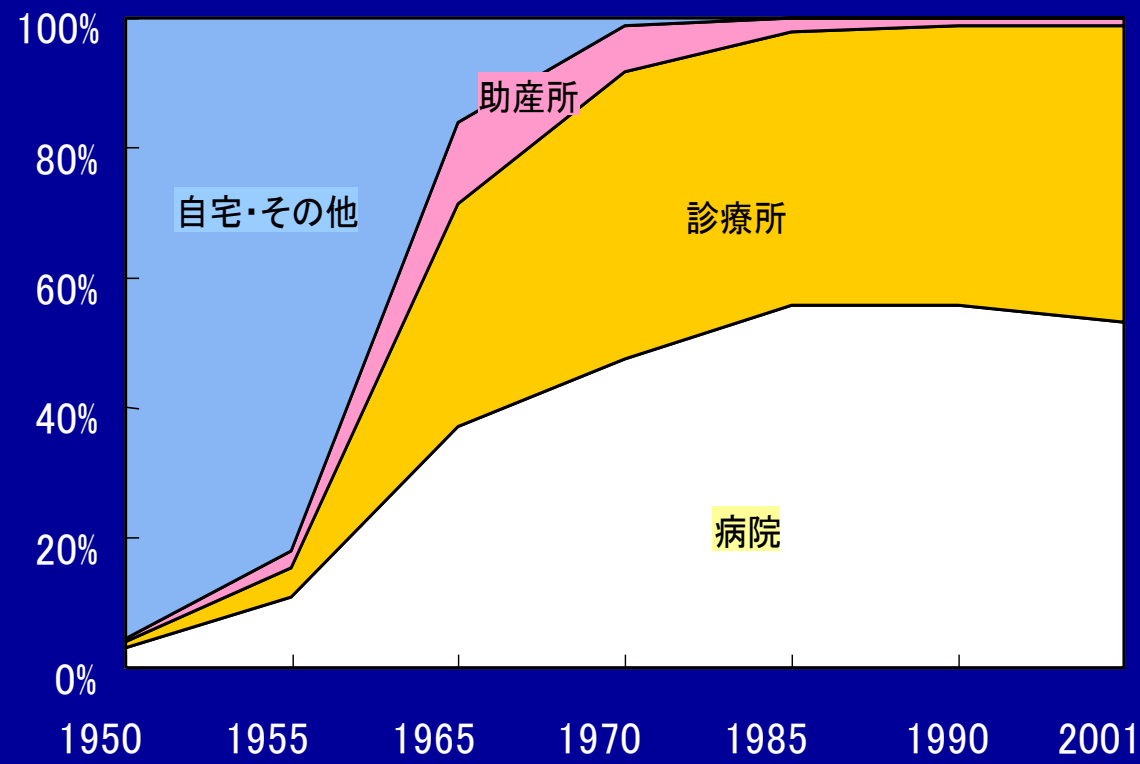
- ❖ 不安、苦痛、屈辱や羞恥のあるお産
- ❖ 合成オキシトシンを使用するお産
- ❖ 無痛分娩
- ❖ 機が熟していないのに誘発するお産
- ❖ 病院分娩の限界



1960-70年に分娩が
自宅から病院に移り
何がおこったか

自宅では良く知った産婆
さんが、1対1ケアでほめ
てリラックスさせ母のオキ
シトシンを出させてくれた

病院では分娩台に乗り、
見知らぬ助産師さんが交
代で頑張れと応援してく
れるが、不安のためオキ
シトシンが出ず、その点
滴を受け強い痛みにより
パニックに



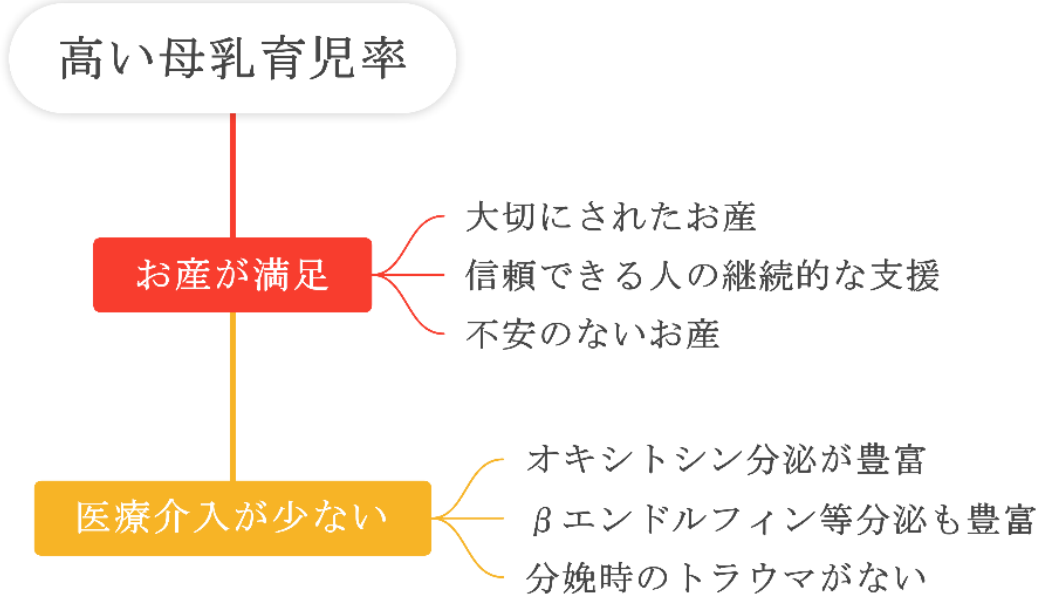
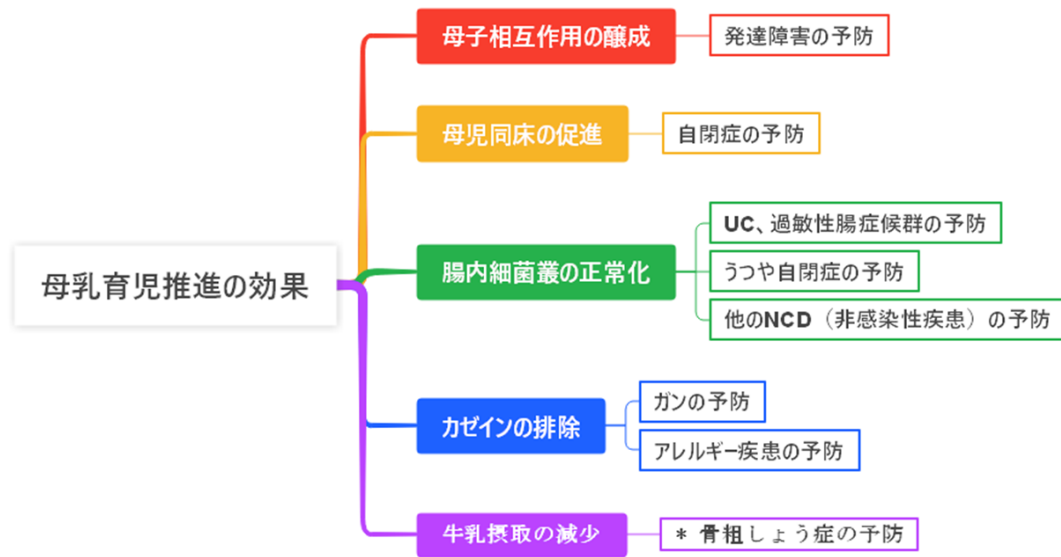


分娩時の硬膜外麻酔による鎮痛は児の自閉症リスク上昇と関連

[JAMA Network Open] より

分娩時の疼痛管理に硬膜外麻酔による鎮痛 (labor epidural analgesia : LEA) を行うと、生まれた児の自閉症スペクトラム障害 (ASD) リスクが上昇するという研究結果が、「JAMA Network Open」に7月21日発表された。また、LEAとオキシトシンを併用するとASDリスクはさらに上昇したが、オキシトシン単独の場合には有意な関連は認められなかった。

米カイザーパーマネンテ・ボールドウィンパーク・メディカルセンターのChunyuan Qiu氏らは、2008～2017年の自施設における経産分娩による単胎分娩20万5,994人のデータを用い、分娩時のLEAおよびオキシトシンの使用と生まれた児のASDの関連について分析した。生まれた児を2021年12月31日まで追跡した。解析は、生年、母親の年齢、妊娠中のBMIなど、関連が予想される因子をCox比例ハザード回帰モデルにより調整して行い、両側検定を行った。



満足度 ↑

幸せなお産

また生
みたい!

助産所の活用

安全確保

ハイリスクの選別

ポイント健診

普段の健診

センター紹介

異常発生時

高次搬送

ヘリ搬送

陸路搬送

法的な問題

嘱託医制度

嘱託医療機関制度

応召義務
で対応

助産所活用にあたって考慮すべきこと

お産は日常生活の一部であるから生活圏内に分娩場所を用意する

集約化は救急医療への対応であり、正常なお産には馴染まない

搬送体制は重要であり、**県周産期協議会に助産所代表を委員**に加える

搬送には救急車とドクターヘリを充実させる **緊急時は嘱託医の指示なしでもよい**

助産所と嘱託医療機関との契約ができない場合は、周産期協議会で決定する。

応召義務について

- 医師法第19条第1項後段に、
- 「正常分娩に関する産婦人科診療に従事する医師は、助産所での分娩（妊婦等の自宅等に出張して助産師が助産を行う分娩も含む。）の助産を行うために、助産を担当する当該助産所又は助産師の嘱託を妊婦等より求められた場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない。」を付言する